



最初にお読みください

TenQ AT-TQ4551/4552 リリースノート

この度は、AT-TQ4551/4552 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、AT-TQ4551 取扱説明書（613-000612 Rev.B）と AT-TQ4552 取扱説明書（613-000613 Rev.B）、AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル（613-000615 Rev.B）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.0.3

2 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.0.1 から 1.0.3 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 2.1 イーサネットインターフェースで受信バッファがオーバーフローすると、イーサネットインターフェースがパケットを受信できなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 2.1 無線インターフェースで高トラフィックのパケット受信が継続すると、無線受信処理が停止することがありましたが、これを修正しました。

3 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.0.3 には、以下の制限事項があります。

3.1 NTP について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 48 ページ**

NTP が有効な場合に、date コマンドを実行して手動で時刻設定を行うと、コンソールの反応が遅くなる場合があります。

3.2 スタティックルートについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 74 ページ**

ip route delete コマンドでは、スタティックルートのみ削除が可能です。ただし、RIP で得た動的ルート情報を削除しようとするとは実際には削除されませんが、スタティックルートを削除したときと同じように、削除したことを示すメッセージが表示されます。

3.3 IP フィルターについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 79 ページ**

filter add コマンドで with short と指定しても、IP ヘッダーが短い場合は IP パケットとして認識されずルーティングできませんので、フィルタリングはされません。

3.4 NAT について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 84 ページ**

NAT に関して、変換する IP アドレスに、ip address コマンドで本製品のインターフェースに設定した IP アドレスを指定しないと、通信ができません。

3.5 DHCP サーバー機能について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 89 ページ**

本製品がブリッジモードで、DHCP サーバーを利用するインターフェースと DHCP クライアントが存在するインターフェースが異なる場合、クライアントが取得した IP アドレスをリリースしても、配布した IP アドレスの有効期間が過ぎるまでは IP アドレスはプールされたままの状態になります。

3.6 設定の保存について

本製品では、save コマンドを実行しないと下記の項目の設定が保存されません。

- ・ ユーザーモード / 特権モードのパスワード
- ・ SSH ホストキー / 公開鍵

3.7 エージングタイマーについて

AT-TQ4552 のジャンクションユニットのエージングタイムは 5 分ですが、1 分程度の誤差が生じることがあります。

4 取扱説明書・設定マニュアルの補足・誤記訂正

取扱説明書、および設定マニュアルの補足事項と誤記訂正です。

4.1 使用可能なコマンドの一覧表示について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 19 ページ**

ユーザーモードと特権モードでは、使用できるコマンドに違いがありますが、? キーを押して表示されるコマンド一覧には、同じコマンドが表示されます。

4.2 ping について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 42 ページ**

本製品で ping コマンドを実行して失敗した場合、「ping:send to :Host is down」というメッセージが表示される場合と、されない場合があります。宛先 IP アドレスが ARP テーブルに登

録されていない場合はメッセージが表示されますが、登録されている場合にはメッセージは表示されません。

4.3 ファームウェアバージョンの表示について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 43 ページ**

ファームウェアのバージョンアップ後に、save コマンドを実行するまでは、show config コマンドで表示されるファームウェアバージョンは、バージョンアップ前のバージョンが表示されます。

4.4 NTPについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 48 ページ**

ntp server add コマンドで NTP サーバーのアドレスを設定すると、ntp enable コマンドを実行しなくても、自動的に NTP が有効になります。

4.5 SNMPについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 52 ページ**

- SNMP で、有線側、無線側のリンク状態を監視することはできません。
- SNMP に関する設定で、Trap のみを有効に設定することはできません。

4.6 ワイヤレス機能について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 63 ページ**

wireless txrate コマンドで、auto を設定した場合、通信タイプによって動作が異なります。

無線 LAN アクセスポイント、または、擬似 Ad-hoc の場合：

1、2、5.5、11Mbps…と送信速度の設定が順に上がる

無線 LAN 端末の場合：

IEEE 802.11b モードの場合は 11Mbps、IEEE 802.11g モードの場合は 54Mbps の設定になる

4.7 IPについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 72 ページ**

存在しないネットワーク宛のパケットを受信した場合（ルーティングテーブルに宛先が登録されていなかった場合）には、ICMP Host Unreachable が送信されますが、存在しないホスト宛のパケットを受信した場合は、何も送信されません。

4.8 IPフィルターについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 78 ページ**

nat enable コマンドを実行すると、filter enable コマンドを実行しなくても、自動的に IP フィルターが有効になります。

4.9 RIPについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 82 ページ**

インターフェースのリンクダウン / アップ状態にかかわらず、RIP パケットには、本製品が持っているインターフェース情報が含まれています。

4.10 DHCP サーバー機能について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 89 ページ**

- show dhcp コマンドで表示される時刻表示は、グリニッジ平均時を表示します。
- 既に配布済みの IP アドレスに対して、別のクライアントからリクエストが来たような場合には、DHCPNAK メッセージが送信されます。
- DHCP サーバー機能は、無線インターフェースまたは有線インターフェースの、どちらか一方でのみ動作します。
- dhcp pool コマンドで設定する、配布する IP アドレスの範囲は、本製品が所属するネットワーク内で設定することができます。

4.11 フォワーディングデータベースについて

FDB に登録された MAC アドレスが、エージングタイムが経過しても削除されないことがあります。削除されるまでは、有効なアドレスとして扱われます。

4.12 ip route delete コマンドについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 74 ページ**

ip route delete コマンドの書式に誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

Ⓔ **ip route delete *Destination Netmask Gateway***

Ⓕ **ip route delete [*Destination Netmask Gateway ; all*]**

パラメーターに、all を指定した場合は、すべてのスタティックルートが削除されます。

4.13 保証書について

 **「AT-TQ4552 取扱説明書」 10 ページ**

「マニュアルの構成」の説明の中に、製品保証書についての記載がありますが、AT-TQ4552には製品保証書は同梱されておりません。訂正して、お詫び致します。